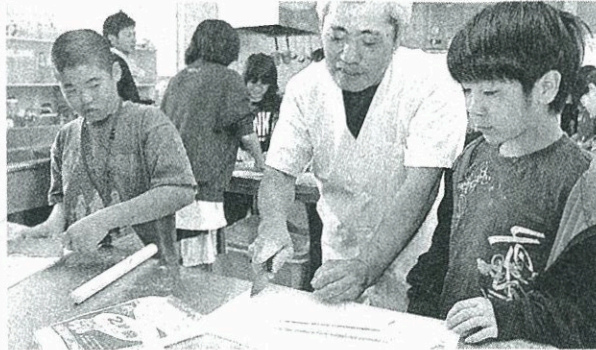


宮古島で、本土で児童ら交流

泊小児童、そば作り体験 宮古島で離島宿泊交流



離島体験学習促進事業で宮古そば作りを体験する泊小学校の児童ら＝宮古島市の体験工芸村

池間湿地で野鳥の生態観察などをした。28日は同市の体験工芸村で工作やそば作りをした。

同事業は、沖縄本島の住民が離島への関心が低い現状を踏まえ、将来を3年間実施される。

子どもたちも日ごろ味わえない離島の生活を楽しんだ。6年生の羽賀万葉君(12)は「ゴーヤーの受粉と収穫をした。全部楽しかった」と笑顔を見せ、初めて宮古島を訪れたという渡眞利祐紀君(12)は「サトウキビがおいしかった。また来てみたい」と話した。

【宮古島】沖縄本島の小学生が離島地域の魅力や困難性を実感するため

26日に同市総合博物館で

宮古の歴史を学んだ後、

城辺公民館で交流会を開

きレクリエーションなど

を楽しんだ。27日には畜

産農家で牛の餌やりや野

菜農家でゴーヤーの収穫

などを体験し、午後には

【宮古島】沖縄本島の小学生が離島地域の魅力や困難性を実感するため、26日に同市総合博物館で宮古の歴史を学んだ後、城辺公民館で交流会を開きレクリエーションなどを楽しんだ。27日には畜産農家で牛の餌やりや野菜農家でゴーヤーの収穫などを体験し、午後には